

9-2

PCを用いた栄養ケアマネジメント情報の自動収集について

正確な情報による栄養ケアを目指して

情報の自動収集

栄養ケアマネジメント

特別養護老人ホーム ヨコタホーム

管理栄養士・渡久地幸子

東京都福生市福生 2300 番 4

TEL 042-553-6633

E-mail sakoda@mokuseikai.or.jp

FAX 042-553-6686

URL http://www.mokuseikai.or.jp

施設またはサービスの概要

特別養護老人ホームヨコタホームは平成8年4月に開設され、入所定員100名・ショートステイ6名の施設です。2階と3階にそれぞれ50名とショートステイの方が生活されています。ホームの平均介護度3.6、平均年齢83.3歳。

〈取り組んだ課題〉

当施設ではパーペルスを合言葉に、PCを用いた「ゆりりん個別ケアシステム」を導入した。

このシステムから、食事量、体重、飲水量、排便の有無、発熱時の体温を、個別に1ヶ月間データ化し、栄養ケア・マネジメントに生かしている。

今回は、「ゆりりん個別ケアシステム」から得られた情報を、栄養ケア・マネジメントに生かしている現状について報告いたします。

〈具体的な取り組み〉

1. 導入の過程

○平成19年3月「ゆりりん個別ケアシステム」導入、タッチパネルによる入力が始まる。

○同年4月中旬、タケシバ電気に「栄養ケアカンファレンス基本資料」（以降、「栄養ケア資料」と略）の原案を提案。

○同年4月下旬、タケシバ電気より「栄養ケア資料」雛型が送られる。

○同年6月端末（PDA）による入力が始まる。

○同年6月中旬、「栄養ケア資料」のプログラム導入、栄養ケア・マネジメント情報として使用開始。

2. 栄養ケア・マネジメントの実践

○「栄養ケア資料」の項目は、利用者氏名、身長、食事摂取量、排便の有無、発熱時の体温、水分量（IN・OUT）、実日数平均食事摂取量、体重、BMI、体重減少率、摂取エネルギー量、摂取たんぱく質量である。

○体重測定日までの1ヶ月間の情報を指定し、情報を自動収集する。

○体重測定日から10日以内に栄養ケアカンファレンスを行う。

〈活動の成果と評価〉

①平均食事摂取量、BMI、体重減少率などの情報を得るのに、20件で2時間以上かかっていたものが45分程度にまで減少した。

②体重、BMI、体重減少率は、その推移を確認することができる。

③無排便日数もあわせて確認できるので、便が溜まって体重が増加しているといったことも確認できる。

④排便の有無、発熱時の体温、食事摂取量が横並びに記されるので、食事摂取量が減少した際の検討に有効である。

〈今後の課題〉

①食事時のコメントもあわせて情報収集できるので、覚醒状況、むせこみの有無、食後の疲らみの有無などデータからだけでは分からない情報も、今後収集し栄養ケアマネジメントに活用していきたい。

②栄養ケアカンファレンスの内容も「ゆりりん個別ケアシステム」に記録することにより、職員への情報の周知に役立てたい。

③日常の情報を汲み取り、特に日々の様子から利用者の生活リズムにあった栄養ケア・マネジメントを行っていきたい。

〈参考資料など〉